

● 令和6年（2024年）の世界の主な火山活動

令和6年（2024年）に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

ルアン（Ruang） インドネシア

4月16日に噴火活動が始まり、4月17日と30日に噴煙が海拔高度約19kmに達する噴火が発生した。これらの活動で、付近の住民の推定6,045人以上が避難した。また報道によると、噴出物により3,000戸以上の家屋及び教会2棟と小学校が被害を受け、7空港が閉鎖された。

レウオトビ（Lewotobi） インドネシア

レウオトビ・ラキラキ山の噴火活動が、10月30日から11月5日にかけて活発化し、その後も11月19日にかけて活発に経過した。11月3日深夜から4日未明にかけての爆発的な噴火で、火砕流が四方に流下し、多くの地域が火山灰に覆われ、住宅地では火災が生じた。この噴火で死者9人、重体1人、負傷者63人が報告された（5日時点）。7日午前の噴火で噴煙の一部が海拔高度約16.8kmまで上昇した。8～9日にも数回の大きな爆発的な噴火により火砕流が発生した。最大で火口から9kmまで立ち入りが禁止され、最多で13,000人以上が避難し、10人が死亡した（11月末時点）。降灰により最多で5か所の空港が一時閉鎖された。

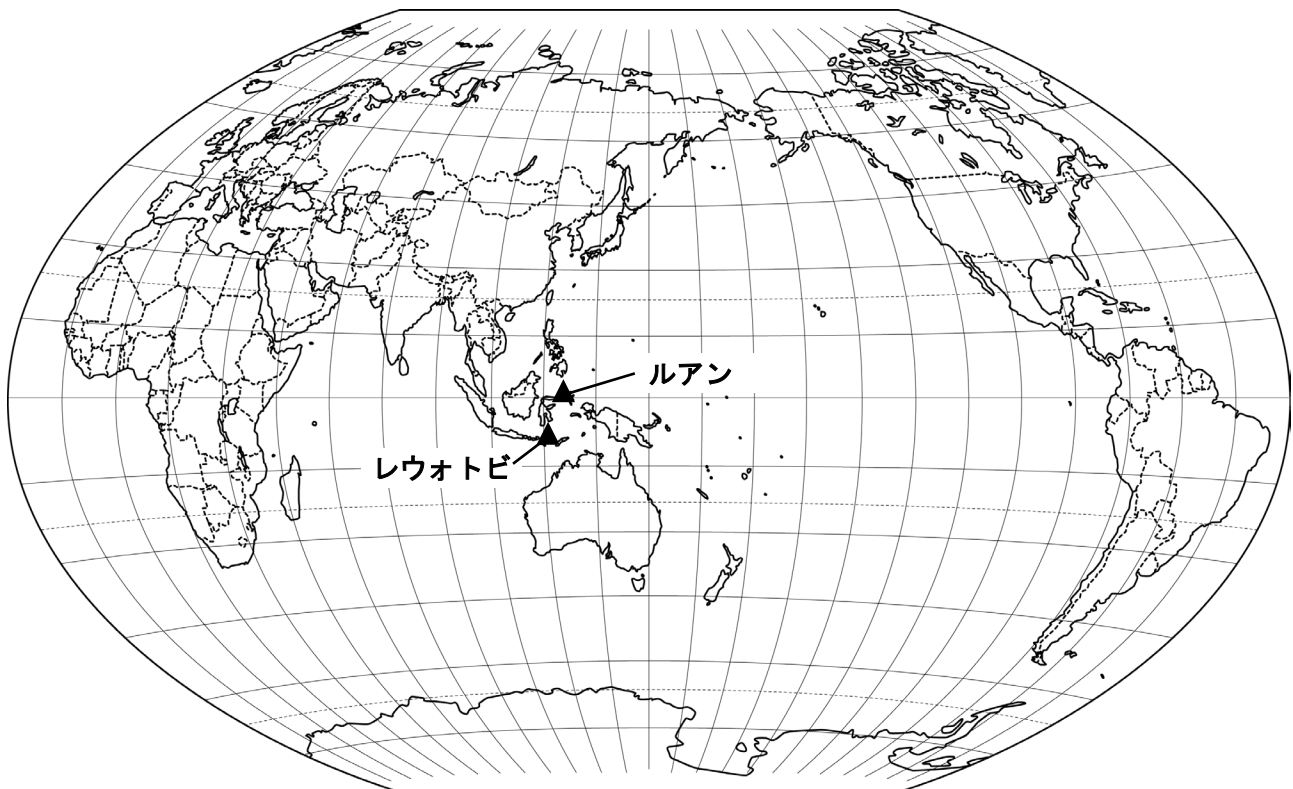


図 令和6年（2024年）に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) 及びダーウィン航空路火山灰情報センター“Darwin Volcanic Ash Advisory Centre”による。日付は全て現地時間。